

遠隔医療の推進方策に関する懇談会にて
(厚生労働省2008.4.9)

遠隔医療支援・地域医療連携 について

長崎大学大学院医歯薬総合研究科

・医療科学専攻・社会医療科学講座・医療情報学分野
(医学部・歯学部附属病院 医療情報部)

本多正幸

本日の話のテーマ

1. 長崎における遠隔離島医療支援
2. 医療情報学会における遠隔医療への取り組み
3. 遠隔医療の推進のために

長崎県における離島遠隔医療 支援の紹介

離島遠隔診断システム：フォトフォン

- ・ **連携機関**
国立長崎医療センター(支援病院)
離島中核的病院等(依頼病院:(上五島病院、対馬いづはら病院、五島中央病院、他(計12病院)))
- ・ **連携方法**
アナログによるCT画像等の伝送
- ・ **連携内容**
離島中核病院等からの診断支援および救命救急患者の本土搬送への対応
- ・ **連携期間**
平成2年～平成13年
- ・ **問題点**
導入後10年を経過し、システムの老朽化
画像転送速度、画像精度

離島遠隔診断システム : マルチメディアモデル (総務省「通信・放送機構(TAO)」)

- ・ **連携機関**
国立長崎医療センター(支援病院)
長崎大学医学部附属病院(支援病院)
離島中核的病院等(依頼病院)
- ・ **連携方法**
ISDNによるCT画像等の伝送(2003年秋よりADSLへ)
- ・ **連携内容**
離島中核病院等からの診断支援および救命救急患者の本土搬送への対応
- ・ **連携期間**
平成12年～平成16年

平成17年(2005年)
以降も継続中

離島遠隔診断システム ：マルチメディアモデル （総務省「通信・放送機構（TAO）」）

- 内容

1. フォトフォンシステムを「通信・放送機構」の直轄事業として更新
2. 新たに長崎大学附属病院と離島のへき地診療所との間にインターネットによるコンサルテーション支援システムの構築
3. 最新のセキュリティ技術と国際標準圧縮技術を活用した医療支援ネットワークの構築⁶

離島遠隔診断システム : マルチメディアモデル (総務省「通信・放送機構(TAO)」)

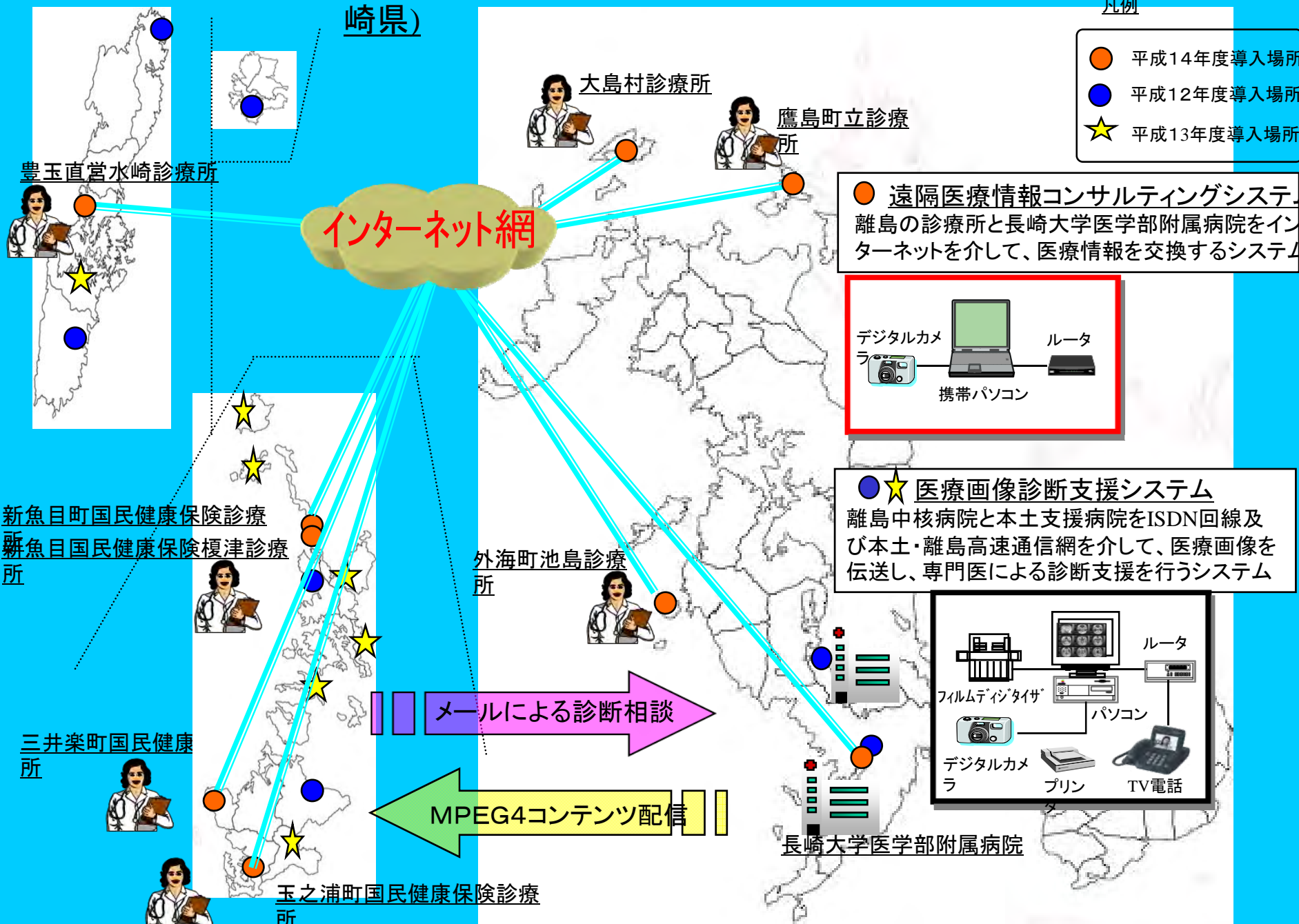
- 目的

1. DICOM準拠のデジタル画像遠隔診断システムに関する研究開発
2. MPEG4-VODおよびメールによる離島医療情報ネットワークのためのWEB対応型のセキュアプラットフォームに関する研究開発
3. 運用評価

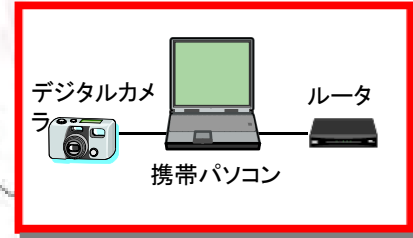
マルチメディア・モデル医療システム(長崎県)

凡例

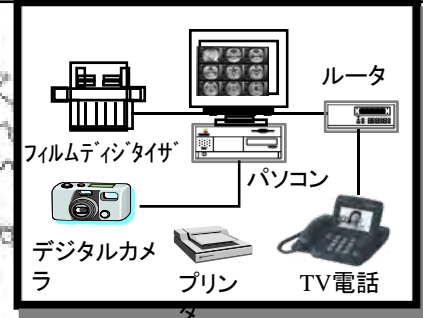
- 平成14年度導入場所
- 平成12年度導入場所
- ★ 平成13年度導入場所



● 遠隔医療情報コンサルティングシステム
 離島の診療所と長崎大学医学部附属病院をインターネットを介して、医療情報を交換するシステム



●★ 医療画像診断支援システム
 離島中核病院と本土支援病院をISDN回線及び本土・離島高速通信網を介して、医療画像を伝送し、専門医による診断支援を行うシステム



メールによる診断相談

MPEG4コンテンツ配信

豊玉直営水崎診療所

大島村診療所

鷹島町立診療所

新魚目町国民健康保険診療所
 新魚目国民健康保険榎津診療所

外海町池島診療所

三井楽町国民健康所

長崎大学医学部附属病院

玉之浦町国民健康保険診療所

インターネット網